



WEEKLY REPORT




会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南
 ■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内
 TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第 3 4 2 4 例会	No. 4 3	2025.6.11	
点鐘・ロータリーソング	12時30分 「それでこそロータリー」		
四つのテスト	竹井崇利君		
クラブ協議会（24-25各委員会後期活動報告）			

新入会員入会式



皆さま、はじめまして。本日は自己紹介の機会をいただき、ありがとうございます。そして、入会を勧めて頂いた竹井崇利さん西島元利さんありがとうございます。このたびご縁をいただき、ロータリークラブに入会させていただきました、竹井醸造合名会社の竹井克己と申します。私ども竹井醸造は、屋号をエンマン醤油として地域の食文化を支える味噌や醤油などの醸造品を製造してまいりました。地域の皆さまに支えられながら、伝統を守りつつ、時代に即した新しい挑戦も続けております。私自身、経営者としてまだまだ学ぶべきことが多く、このロータリークラブでの活動を通じて、多くの方々とのご縁を大切に、地域社会への貢献にも力を尽くしていきたいと考えております。現在は自企業の県醤油味噌組合の理事、NIC21の会長、商工会議所青年部の監事、消防団の部長として地域のボランティア活動や日南市のこども宅食事業などをさせて頂いております。私、竹井克己は趣味は釣りであります。小さな船ではありますが自分で夕方にポイントまで操縦し今の時期はイサキやアジ、これからはシブダイという魚を狙います。それを自分で捌き、マイブームの日本酒と一緒に楽しんでおります。以上私の自己紹介とさせていただきます。

竹井克己君（1983年12月8日生 41歳）

勤務先：竹井醸造合名会社 代表社員

趣味：釣り

会長時間



皆さま、こんにちは。今月はロータリー親睦活動月間です。本日は、私たちロータリアンにとって大切な「親睦活動」について、少しお話をさせていただきます。ロータリーの三本柱といえば、「奉仕」「親睦」「職業倫理」。この中でも、親睦は、まさにロータリー活動の土台のような存在です。信頼や友情がなければ、どれだけ立派な奉仕活動の計画も、実現は難しいでしょう。ところで皆さん、最近、クラブの仲間とじっくり語り合う機会、ありましたでしょうか？ 例会では顔を合わせても、ゆっくり話す時間はなかなか取れないものです。だからこそ、懇親会やクラブ旅行といった親睦活動は、とても貴重なんですね。親睦と聞くと、ちょっと肩の力が抜けて、笑顔が浮かぶような、そんな温かい言葉ですね。そして、当クラブでその親睦の中心的な役割を果たしているのが、「茜会」というゴルフの集まりです。茜会は、不定期に、会員が集まってゴルフを楽しむ、いわば“スポーツを通じた語らいの場”です。競技といっても、成績よりも大切にしているのは、一緒にラウンドを回ることによって生まれる自然な会話、笑い、そしてつながりだと思います。ゴルフというスポーツは、他のスポーツと少し違って、長い時間を共有しますよね。朝から昼過ぎまで、4時間、5時間と、同じグループで一緒に歩き、一緒に笑い、ときに励まし合う。その時間こそが、茜会の真骨頂です。そしてラウンドのあとは、食事をしながらの表彰式。ここでのスピーチもまた見ものです。思わず笑ってしまう話、意外な一面が見えるエピソード、クラブの活動では見られない表情があふれています。茜会には、ゴルフの腕前に関係なく、どなたでも気軽に参加できます。初心者の方も、道具がなくても、まずは“見学から”でも大歓迎です。なにより大切なのは、「一緒に楽しもう」という気持ちです。もちろん、健康にも良いですし、仕事のことを少し忘れて、自然の中でリフレッシュできるのも魅力です。ロータリークラブの精神のひとつ「超我の奉仕」を続けていくためにも、会員同士が信頼と親しみを持ち合うことは、欠かせない土台だと思います。茜会は、まさにその「親睦の場」として、これからも大切にしていきたい活動です。実はここまでの話は、チャットGPTで「ロータリークラブ親睦活動について、10分程度のスピーチ風の下稿を作って」と入力して、出来てきた下稿を私たちのクラブの実情を踏まえ、少し手を加えて作ったものです。お気づきになりましたでしょうか。会長を務められた方は皆さん少なからずそうだと思うのですが、私は、会長になったとき、やはり心配だったのが会長時間で何を話すかでした。会長就任前に、いくつか下稿を作っていました。しかし、下稿を先に作っておいても、時間がたちすぎると話がずれてしまっていたり、新しい情報が入ってきたりして使えなくなってしまうものが結構ありました。それで、ネタだけをたくさん考えて2〜3週間くらい前に下稿を作るというやり方でこれまでの会長時間を乗り越えて来ました。そのネタの中にAI、つまりチャットGPTで下稿を作ったらどうなるか。皆さんがどう反応するだろうという、ちょっとしたいたずらというか、好奇心というか、果たして違和感があるのだろうかと思ひ、今回、このネタを持ってきました。これまでも下稿は、チャットGPTは使っていたのですが、それは今回のように文章そのものを作ってもらうのではなく、ネタを下稿にするための参考にして記事や、ある程度の正確な情報。つまり、日付だったり、人物名だったり、題材の背景、歴史だったり調べるためのネットのサイトなどを調べるのに使っていました。そしてその中で出てくる知らない人物、聞きなれない言葉、出来事などをまたチャットGPTで掘り出してそれで下稿をまとめていく。そうやって私の会長時間の下稿は作ってきました。新札の話の時は、資料として旧札を探してデザインを懐かしく見てもらったり、リサイクルマークの話の時はマークを印刷したりしてそれぞれの意味を確認してもらったりと、とても重宝しました。しかし下稿を作るという苦労もあと2回を残すのみとなりました。ためになる話になるのか、くだらない話になるのか。怖いので感想は特にお聞きしませんが、あと2回の会長時間をどうぞ温かい目でお付き合いください。

幹事報告

1. 日本事務局より、6月のロータリーレートのお知らせが届いております。
 - ・ 今月のレートは、1\$ = 144円 となっております。(前月のレートは、1\$ = 142円)
2. 4月5日に開催をしましたライラ研修会におきまして講演をお願い致しました、地区社会奉仕委員長の勢井由美子様よりライラ報告書に対するお礼のお手紙が届いております。
3. 6月4日に行った3クラブ合同で実施したNPO法人日南子ども食堂に贈呈した、お米・翡翠賞の模様が6月8日の宮崎日日新聞朝刊に掲載されました。
4. 鹿児島サザンウインドRCより例会場の変更のお知らせが届いております。

スマイル

- 井野畑善順君 豊田君より、リースが終了したシュレッダーを頂きましたが、弊社で今まで使用していた安物と比較にならない程の能力で助かっています。有難うございました。
- 峰松 俊夫君 日本産婦人科感染症学会の理事に就任しました。
先天性感染症、子宮頸がん対策を主なテーマとした学会ですが、性行為感染症もやっています。
お困りの方は、こっそりご相談ください。
- 築瀬 敦君 先週のロータリー奉仕デー、および翡翠賞の授与式の模様が当時の夕方のUMKニュースで、日曜日の宮日新聞で紹介されました。我々の活動のとても良いアピールになりました。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	33	7(4)	29	23	2	4	25	88.20%
出席免除	落丸、清水、野崎、渡邊、							
先取M U	甲斐、村社							
欠 席	稲垣、花盛、古澤、松田							

クラブ協議会（24-25 委員会後期活動報告）

■クラブ管理運営委員会

<例会運営委員会>

委員長：西島元利 副委員長：豊田裕康 委員：花盛和也、黒武者和浩、富満正哉

○後期の活動実績

- ・一人 10 分程度 の時間をとって、各委員会の事業・趣味等につき自由に卓話をしてもらう事で会員卓話の充実を図る
- ・委員以外からも推薦を募って会員が興味をもつようなゲスト卓話を実施する
- ・ロータリー月間の担当委員長による卓話を実施する
- ・地区大会、地区研修協議会終了後の出席者による報告を実施する
- ・例会終了後の出席状況の報告を実施する
- ・100%出席者への表彰を実施する
- ・委員による例会開始 30 分前からの受付を実施する
- ・例会欠席連絡徹底の奨励○活動実績

○後期の活動反省

<ゲスト卓話>

- ・10月30日：和田 元 様（東京大学名誉教授） テーマ：『植物の面白い柔軟な生き方』
- ・2月19日：外尾 啓太郎 様（テゲバジャーロ宮崎クラブ事業部営業部長）
テーマ：『Jリーグの現状とクラブの今後の展望について』
- ・5月7日：坂元 隆志 様（日南警察署署長） テーマ：『特殊詐欺の現状と注意すべきポイントについて』

<会員卓話>

- ・7月17日：西島 元利 君「重心領域から創出するソーシャルキャピタル&地方創生」
- ・9月11日：井野畑 善順 君「日向灘地震による日南地方のお墓状況」
- ・9月18日：西田 誠悟 君「電気事業の歴史について」
- ・1月29日：豊田 裕康 君「日南における刑事事件の事例について」

〈100%出席表彰（11月20日開催）〉

- ・ホームクラブ出席100%表彰：河野 通郎 君
- ・MU 出席100%表彰：10名（※うち1名は異動のため今年度退会済）

反省点：PC 操作に手間取り、例会終了予定時間をオーバーした事例があったことからより入念な下準備の必要性を認識させられました

○予算執行額

- ・年間予算 118,000 円 ・執行額 20,630 円（令和7年6月10日現在）

執行額内訳

ゲスト卓話謝礼 5,650 円×2 回=11,300 円（※1 名は公務員のため辞退）

100%例会出席者記念品 5,000 円（1 名分）+4,330 円（9 名分）=9,330 円

■クラブ管理運営委員会

＜親睦委員会＞

委員長：入中英雄 副委員長：榎木田大資 委員：西島元利

○後期の活動実績

- ・結婚・誕生月の会員にお祝いの品を贈呈し卓話を実施した。
- ・サマー親睦会（8/28）台風のため中止。
- ・家族アワー・忘年会（12/11）オークション開催。
- ・新年会（1/8）、観桜会（3/26）を実施した。

○後期の活動反省

- ・結婚・誕生月卓話については、該当者が多い月と少ない月でバラつきがあるので平均的にできないものか思います。
- ・4月の観桜会において、「ロータリーのマジック」にちなんで、榎木田副委員長にマジシャンの方を手配いただき、盛り上げて頂き感謝いたしております。

○予算執行額

予算額	執行額
誕生日・結婚記念日の記念品代	120,000 円 101,700 円
サマー親睦会	120,000 円 未執行
家族アワー・忘年会	120,000 円 93,311 円
新年会	120,000 円 74,371 円
観桜会	120,000 円 125,306 円
予備費	20,000 円 未執行
合 計	620,000 円 394,688 円

■クラブ管理運営委員会

＜R 情報委員会＞

委員長：田島逸男 副委員長：野崎正彦 委員：土屋昭次

○後期の活動実績

1. 前年度作成した日南ロータリークラブの用語集（通称赤本）を基に会員への周知を図る。
→手作りの「赤本」は時代にそぐわない用語も出てきたのでテキストを「今日からロータリアン」に変更した。（全員に配布した）
2. 空き時間が発生したら情報委員を指名して貰いロータリー用語集の解説をする。
→空き時間の発生時に複数回「今日からロータリアン」をテキストに解説した。
3. 情報集会を複数回開催
→第1回情報集会を2024年11月18日に開催した。出席者は21名で「CLF ラーニングセミナ報告」と「My Rotary 登録説明」新入会員が入会したので第2回情報集会を計画中

4. その他

①会長及び理事会からの諮問事項に対応する。

→諮問事項の実績なし

②「奨学会わかば」委員会や財団と連携して周知を図る。

→2024年10月9日開催の「わかば奨学金授与式」で周知した

③ My Rotary 登録の100%を目指す

→残念ながらシステムが複雑で断念した

○後期の活動反省

1. My Rotary 登録の100%に向けて周知協力を仰ぐ。

→西島特命委員から説明

2. 空き時間が出れば SAA にお願いしてロータリークラブの用語の説明を情報委員会委員が実施する。

→SAA から指名される前に定期的に委員会報告として用語の解説を実施することも視野に入れていればよかった。

3. 少なくとも年度中に第2回の「情報集会」を開催する予定であったが、日程が立て込んでいて開催が未定になった。→年度当初に日程を計画すればよかった。

○予算執行額

① 11/18 情報集会新入会員会費分 5,000 円× 4 名=20,000 円

飲食代支払不足分 1,960 円

② 「今日からロータリアン」等研修用冊子購入合計 12,800 円

※今期予算未消化額 60,000 円-34,760 円=25,240 円

■会員増強委員会

＜会員増強委員会＞ 委員長：榎木田大資 副委員長：甲斐信之 委員：富満正哉

○後期の活動実績

- ・今年は3名増強と掲げていました。
- ・今年は皆さんのおかげで3名のメンバーの入会ができました。
- ・40代のメンバー3名が入り会員基盤がしっかりとしてきました。

○後期の活動反省

少しでも興味がある方はゲストなどで呼び込んでロータリークラブを理解して頂き、夜間例会・懇親会などに誘うといいと思いました。例会時になどでも、新入会員情報をグループラインなどで連携して周知徹底すればいいと思います。

○予算執行額 0 円

■広報委員会

＜雑誌広報委員会＞

委員長：菊池希樹 副委員長：河野通郎 委員：齋藤奈々

○後期の活動実績

- ・「ロータリーの友」の購読の奨励事業として7月号を委員会報告時、8月号、9月号を広報誌にて購読賞金実施
- ・毎例会終了後広報誌発行を実施（6/11 現在 42 部発行済み）今期残3部発行予定
- ・日南市古澤広報係長を通じ日南記者クラブへ2024年度日南ロータリークラブ広報体制を周知
- ・8/31 開催の高校生就職支援セミナーを記者クラブを通じ広報実施。その後中止連絡
- ・8/30 マスメディア交流会企画。台風襲来の為中止
- ・5/16 マスメディア交流会実施（記者クラブ6名、日南 RC7 名⇒24-25 会長、幹事 25-26 会長、幹事、広報委員3名）
- ・6/4 例会にてのロータリー奉仕デー、翡翠賞授賞式の取材を日南市崎村広報係長を通じ記者クラブへ周知

○後期の活動反省

- ・10月号以降「ロータリーの友」購読奨励が滞ってしまった。
- ・少年野球大会等広報漏れの事業があり、クラブ内への広報委員会活動の周知が出来ていなかった。

- ・広報誌発行者が例会欠席でも河野副委員長、齋藤委員がバックアップをしていただき滞りなく発行できました。今後については、編集発行を委員全員が持ち回りで実施等の体制を構築したほうが広報誌発行がスムーズにいくと思います。

○予算執行額

年間予算 30,000 円 ・ 5/16 マスメディア交流会にて 30,000 円執行

■奉仕プロジェクト委員会

＜職業奉仕委員会＞

委員長：齋藤奈々 **副委員長：**村社浩二 **委員：**入中英雄、斉藤篤史

○後期の活動実績

1. 4つのテストの唱和については実施できた。
2. 社会奉仕委員会と共同で、翡翠賞に「日南こども食堂」佐藤泰信氏を選定。6月4日の例会にて表彰した。
3. 2月26日の委員会アワーでは、「職業奉仕」への理解を深めるために、「ロータリーの樹」の図を用いながら、職業奉仕とはどのようなことなのか説明した。

○後期の活動反省

- ・職業訪問に関しては、訪問先の選定が難しく、実施に至らなかった。駐車場の問題や移動の問題等、訪問先の選定に悩んだ。

○予算執行額

職業訪問 10,000 円（未執行）

翡翠賞 30,000 円（6/4 授与）

残高 10,000 円

■奉仕プロジェクト委員会

＜社会奉仕委員会＞

委員長：井野畑善順 **副委員長：**古澤昌子 **委員：**小玉淳

○後期の活動実績

1. 4/23 例会の社会奉仕委員会アワーにおいて、井野畑善順が決議 23-34 について漫画の資料を使用して解り易く話をさせてもらった。又、小玉淳君より、ロータリーが誕生してから最初の社会奉仕活動と言われる「公衆便所」の建設の卓話を行った。
2. 6/4 例会においては、宮崎南部グループ 3 R C 合同の奉仕活動として、NPO 法人日南こども食堂に米約 150kg を提供した。又、「翡翠賞」の授与も同団体に行った。

○後期の活動反省

本年度の社会奉仕委員会活動は、地区の奉仕活動も発生したので、結構ボリュームのあった 1 年だった。例年、社会奉仕委員会は道路愛護が主な活動となり、比較的楽な委員会という印象が強いが、今後は視点を変えた活動が望まれる。

○予算執行額

30,000 円

■奉仕プロジェクト委員会

＜青少年奉仕委員会＞

委員長：花盛和也 **副委員長：**竹井崇利 **委員：**峰松俊夫

○後期の活動実績

青少年指導者養成プログラムの実施

開催日：令和 7 年 4 月 5 日（土）10:00～16:00

場 所：青島青少年自然の家

参加者：研修生 17 名、ロータリアン 27 名、ローターアクト 5 名、学友会 4 名、講師 1 名 計 54 名

○後期の活動反省

国際ロータリー2730 地区宮崎県南部・西部グループの青少年指導者養成プログラムにおいてホストクラブとして企画・立案・実施を担当し、実行委員の協力のもと、無事に成功裏に終えることができた。地区ライラ委員会より40万円の予算の割り当てがあったが、講師の講演料を含め可能な限り費用を抑えて実施することができた。

8月末には就職セミナーが控えているので、日南振徳高校への参加依頼をお願いする予定である。

○予算執行額

0円

■ロータリー財団委員会

＜R財団委員会＞

委員長：竹井崇利 副委員長：清水満雄 委員：渡邊眞一郎

○後期の活動実績

1. 100万ドルランチとわかばランチは一人200円の延人数（7月～6月末）で寄付します。概ね10万円程です。
2. 財団への寄付額は46,200円です。（R6.8.16） 10ドル×30名
3. 米山奨学会への寄付額は90,000円です。（R7.1.15） 3,000円×30名
4. わかば奨学会寄付額は150,000円です。（R7.1.15） 5,000円×30名
5. ポリオプラス基金に10,000円寄付

○後期の活動反省

100万ドルランチとわかばランチは、昼食代の値上げのため、これまで500円×例会参加者延べ人数分を寄付してきましたが、本年度は200円×延べ人数分を寄付します。今までの半分ぐらいになる予定です。

○予算執行額

0円

務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より 情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください